

令和2年度6月補正予算(案) ～コロナ社会を生き抜く～

補正予算額 1,104億7,340万3千円

(単位 千円)

1 感染防止・医療 403億円	2 経済の再生 588億円
(1) 感染防止対策の推進 ○病院、診療所等の感染防止対策支援 7,692,116 ○福祉施設等の感染防止対策支援 3,573,516 ○学校・幼稚園、保育所など多方面での感染防止対策支援 2,904,374 ○「新たな日常」に対応する宿泊施設の改修等への支援 500,000 ○災害時の避難所における感染防止対策の拡充 200,000	(1) 経済再生・雇用維持 ○中小・小規模事業者への更なる金融支援の強化 51,334,000 ○新型コロナウイルス感染症対応事業応援補助金の拡充 1,200,000 ○地場産業の販路開拓及び商品開発等への支援 1,042,321 ○サプライチェーンの見直しと新たな需要への設備投資支援 750,000 ○離職者雇用企業給付金の増額 45,000
(2) 今後に備えた医療・福祉提供体制の整備 ○医療、介護・障がい福祉施設従事者等への慰労金の支給 10,345,500 ○感染症患者受入病床の確保 9,744,793 ○ICUの前室付陰圧室化などの入院・診察体制の強化 1,846,039 ○防護服、フェイスシールドなどの衛生資材の確保 1,188,383 ○PCR検査体制の増強 583,842 ○感染症患者受入医療機関への協力金の支給 644,000 ○在宅高齢者・障がい者へのサービス再開に向けた支援 162,200	(2) 観光のリスタート(守りと攻め) ○「新たな日常」に対応する宿泊施設の改修等への支援〔再掲〕 500,000 ○安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅～キャンペーン(クーポン発行等) 771,595 ○「新たな観光」の推進(VR、戦国武将、サステイナブル・ツーリズム等) 320,761 ○インバウンド再開に向けたネットワーキング 103,058 (3) 農林水産業の支援 ○学校給食への飛騨牛・鮎等の提供支援 669,500 ○輸出先国の市場変化に対応した食品製造施設整備等の支援 285,000 ○原木ストックヤードの確保、県産材住宅の建設支援の拡充 60,600
3 子どもたちを守り育てる教育体制の再整備 61億円	4 「新たな日常」・社会経済の変容 56億円
(1) 教育のICT化 ○県立高校等の生徒用タブレット導入やオンライン学習の充実 3,954,902 ○私立高校等の教育ICT化の支援 590,840 ○県立学校(農業大学校、国際園芸アカデミー等)のICT化 149,571	(1) 県民生活の維持・「新たな日常」への対応 ○緊急小口資金や住居確保給付金の確保 1,449,000 ○ひとり親世帯、妊産婦への支援 477,166 ○移住定住の促進、サテライトオフィスの支援 517,000 ○SDGs(持続可能な開発目標)の推進 109,000
(2) 学びの場の確保と安全対策 ○学習指導の人的体制の充実 847,293 ○学校再開に伴うサポートスタッフの増員 269,994 ○臨時的なスクールバス増車による三密の回避 227,188 ○家計急変の影響を受けた児童生徒の私学授業料の軽減 10,804 ○高校総体等の代替大会開催の支援 9,920	(2) 社会経済の変容(デジタルトランスフォーメーションなど) ○テレワークの推進 559,650 ○ローカル5Gの環境整備、ソフトウェア産業の支援 222,000 ○農林業、福祉分野のロボット・ICT化支援 490,117 ○「コロナ社会を生き抜く」文化芸術活動の応援 160,000 ○県庁デジタルトランスフォーメーションの推進 1,500,044